

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

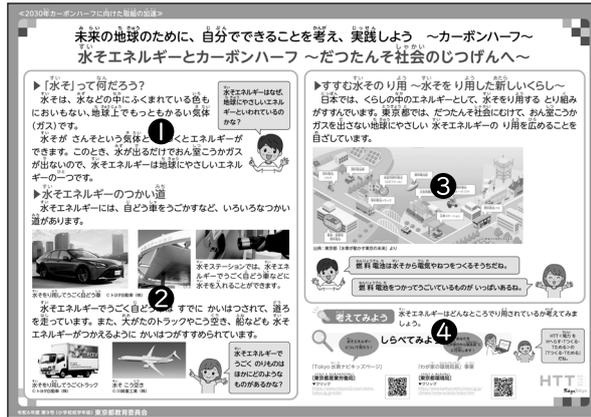
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～ 水素エネルギーとカーボンハーフ ～だつたんそ社会のじつげんへ～

①表題



②ねらい

- ・水素エネルギーについて知る。
- ・水素エネルギーは地球に優しいエネルギーの一つであることを理解する。
- ・脱炭素社会の実現に向けて水素エネルギーの利用を広める取組が進められていることを知る。

③本教材で扱う 水素、水素エネルギー、水素エネルギーの利用 主な内容

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○ 掲示用教材①を見て、水素エネルギーがなぜ、地球に優しいエネルギーなのか、考える。	○ 水素の特徴や水素エネルギーについて説明する。	◆ 掲示用教材① ワークシート①
○ 掲示用教材②を見て、水素エネルギーは様々な乗り物を動かすエネルギーに利用できることを知る。	○ 温室効果ガスが出ないとなぜ環境に優しいのか、質問する。カーボンハーフスタイル推進資料第1号を示してもよい。	◆ 掲示用教材②
○ 水素エネルギーで動く乗り物はどのようなものがあるか、考える。	○ 水素ステーションの役割を説明する。	◆ 掲示用教材② ■東京都教育庁 環境教育ポータル
○ 掲示用教材③を見て、現在使われている燃料電池の利用例と、開発中の様々な例を知る。	○ 燃料電池が水素から電気や熱をつくる装置であることを説明する。	◆ 掲示用教材③ ■東京都産業労働局 Tokyo水素ナビ キッズページ
○ 掲示用教材④、⑤を見て、水素エネルギーがどんなところで利用されているか、考えを発表する。		◆ 掲示用教材④ ワークシート③ ■東京都環境局 「わが家の環境局長」 事業



